

各大会競技規定

1. 東京都高等学校対抗大会(男女団体)・東京都高等学校選手権大会(男子個人)・東京都高等学校女子体重別大会(女子個人) 兼 関東高等学校柔道大会東京都予選会

(1) 試合方法について

a. 男子団体の部

1チーム5名の「点取り試合」とする。

チーム編成は、監督1名、選手5名(先鋒・次鋒・中堅は軽量級、副将・大将は重量級)、補欠2名(軽量級1名、重量級1名)の合計8名とする。

体重区分は、軽量級73kg以下、重量級73kgを超える者。但し、重量級がない場合、軽量級の者は重量級に出場できる。

b. 女子団体の部

1チーム3名の「点取り試合」とする。

チーム編成は、監督1名、選手3名(先鋒・中堅は軽量級、大将は重量級)、補欠2名(軽量級1名、重量級1名)の合計6名とする。

体重区分は、軽量級57kg以下、重量級57kgを超える者。但し、重量級がない場合、軽量級の者は重量級に出場できる。

c. 男子個人の部

体重無差別のトーナメント戦とする。

d. 女子個人の部

7階級(48kg・52kg・57kg・63kg・70kg・78kg・78kg超)のトーナメント戦とする。さらに上位4名による決勝リーグ戦を行う。

(2) 審判規定について

試合は「国際柔道連盟試合審判規定」によって行う。

(3) 試合時間について

男子団体の部 : 準決勝(順位決定戦も含む)まで3分間とし、決勝は4分間とする。

女子団体の部 : 準決勝(順位決定戦も含む)まで3分間とし、決勝は4分間とする。

男子個人の部 : 準々決勝まで3分間とし、準決勝から4分間とする。

女子個人の部 : 準々決勝まで3分間とし、決勝リーグは4分間とする。

(4) 抽選・シード基準について

a. 男子団体の部

第1シード : 都大会前年度優勝校

第2シード : 都大会前年度準優勝校

第3シード : 都大会前年度第3位校

第4シード : 都大会前年度第4位校

第5シード : 支部大会優勝校

第6シード : 支部大会準優勝校

第7シード : 支部大会第3位校

第8シード : 支部大会第4位校

他は支部代表者の責任抽選とする。

b. 女子団体の部

上記「男子団体の部」に準ずる。

c. 男子個人の部

第1シード : 支部大会優勝 第2シード : 支部大会準優勝

第3シード : 支部大会第3位

他は支部代表者の責任抽選とする。

d. 女子個人の部

上記「男子個人の部」に準ずる。

(5) 順位(代表)決定について

a. 男子団体の部

まず、トーナメント戦を行い、準々決勝進出校が第1～8代表となる。次に、3回戦敗退校(ベスト16)の8校により、敗者復活トーナメント戦を行い、第9代表を決定する。

b. 女子団体の部

まず、トーナメント戦を行い、準決勝進出校が第1～4代表となる。次に、準々決勝敗退校(ベスト8)の4校により、敗者復活トーナメント戦を行い、第5～7代表を決定する。

c. 男子個人の部

トーナメント戦を行い、決勝進出選手が第1・2代表となる。また、準決勝敗退選手(ベスト4)の2名により、補欠決定戦を行う。

d. 女子個人の部

参加者が8名以上の場合

まず、トーナメント戦を行い、上位4名からは決勝リーグ戦により上位2名を代表とする。なお、決勝リーグ戦における同一校選手どうしの対戦は、第1試合に行うものとする。

参加者が6～7名の場合

参加者を2つの予選リーグ(A・B)に振り分け、各リーグ上位2名を決勝トーナメント進出とする。決勝トーナメントの組合せは、「Aの1位」対「Bの2位」および「Bの1位」対「Aの2位」とする。

参加者が5名以下の場合

参加者総当たりのリーグ戦を1回行い、上位2名を決定する。

リーグ戦の順位の決定基準は、以下の通りとする。

- (1) 必ず勝敗を決する。
- (2) 順位は、勝ち数の多い選手を上位とする。
- (3) 上記(2)で同等の場合は、「一本」勝ちの多い選手を上位とする。
- (4) 上記(3)で同等の場合は、「技あり」優勢勝ちの多い選手を上位とする。
- (5) 上記(4)で同等の場合は、「有効」優勢勝ちの多い選手を上位とする。
- (6) 上記(5)で同等の場合は、「効果」優勢勝ちの多い選手を上位とする。
- (7) 上記(6)で同等の選手が2名の場合、両者の対戦の勝者を上位とする。
- (8) 同じく、上記(6)で同等の選手が3名の場合、抽選により上位を決定する。

(6) 試合場について

男子団体の部 : 3回戦から正規の試合場で行う。(順位決定戦も含む)

女子団体の部 : 準々決勝から正規の試合場で行う。(順位決定戦も含む)

男子個人の部 : 準決勝から正規の試合場で行う。

女子個人の部 : 決勝リーグから正規の試合場で行う。

(7) 勝敗の判定基準について

東京都高体連柔道専門部大会実施規定「 . 審判規定について」を参照のこと。

(8) 申し合わせ事項について

東京都高体連柔道専門部大会実施規定「 . 申し合わせ事項について」を参照のこと。

2.東京都高等学校総合体育大会 兼 全国高等学校総合体育大会柔道競技東京都予選会

(1) 試合方法について

a. 男子団体の部

1チーム5名の「点取り試合」とする。

チーム編成は、監督1名、選手5名、補欠1名の合計7名とする。

b. 女子団体の部

1チーム3名の「点取り試合」とする。

チーム編成は、監督1名、選手3名(先鋒から体重の軽い者を順に並べる)、補欠1名の合計5名とする。

c. 男子個人の部

7階級(60kg・66kg・73kg・81kg・90kg・100kg・100kg超)のトーナメント戦とする。

d. 女子個人の部

7階級(48kg・52kg・57kg・63kg・70kg・78kg・78kg超)のトーナメント戦とする。

(2) 審判規定について

試合は「国際柔道連盟試合審判規定」によって行う。

(3) 試合時間について

男子団体の部 : 準々決勝(補欠決定戦も含む)まで3分間とし、準決勝から4分間とする。

女子団体の部 : 準々決勝まで3分間とし、準決勝から4分間とする。

男子個人の部 : 準々決勝まで3分間とし、準決勝から4分間とする。

女子個人の部 : 準々決勝まで3分間とし、準決勝から4分間とする。

(4) 抽選・シード基準について

a. 男子団体の部

第1シード : 前年度優勝校

第2シード : 前年度準優勝校

第3シード : 前年度第3位校

第4シード : 前年度第4位校

第5シード : 支部大会優勝校

第6シード : 支部大会準優勝校

第7シード : 支部大会第3位校

第8シード : 支部大会第4位校

他は支部代表者の責任抽選とする。

b. 女子団体の部

上記「男子団体の部」に準ずる。

c. 男子個人の部

第1シード : 支部大会優勝

第2シード : 支部大会準優勝

第3シード : 支部大会第3位

他は支部代表者の責任抽選とする。

d. 女子個人の部

第1シード : 前年度「総体」都予選または当年度「関東」都予選優勝

第2シード : 前年度「総体」都予選または当年度「関東」都予選準優勝

第3シード : 前年度「総体」都予選または当年度「関東」都予選ベスト4

第4シード : 前年度「総体」都予選ベスト8

他は支部代表者の責任抽選とする。

(5) 順位(代表)決定について

男子団体の部

トーナメント戦を行い、決勝進出校が第1・2代表となる。また、準決勝敗退校(ベスト4)の2校により、補欠決定戦を行う。

(6) 試合場について

男子団体の部 : 準決勝から正規の試合場で行う。(補欠決定戦も含む)

女子団体の部 : 準決勝から正規の試合場で行う。

男子個人の部 : 準決勝から正規の試合場で行う。

女子個人の部 : 準決勝から正規の試合場で行う。

(7) 勝敗の判定基準について

東京都高体連柔道専門部大会実施規定「 . 審判規定について」を参照のこと。

(8) 申し合わせ事項について

東京都高体連柔道専門部大会実施規定「 . 申し合わせ事項について」を参照のこと。

3. 東京都高等学校学年別大会 -----

(1) 試合方法について

a. 男子団体の部

1チーム3名の「点取り試合」とする。

チーム編成は、監督1名、選手5名の合計6名とする。

オーダーの変更は毎回認められる。

b. 女子個人の部

1学年および2学年の部は、3階級(52kg・63kg・63kg超)のトーナメント戦とする。

3学年の部は、2階級(57kg・57kg超)のトーナメント戦とする。

(2) 審判規定について

試合は「国際柔道連盟試合審判規定」によって行う。

(3) 試合時間について

男子団体の部 : 準決勝まで3分間とし、決勝は4分間とする。

女子個人の部 : 準決勝まで3分間とし、決勝は4分間とする。

(4) 抽選・シード基準について

a1. 男子団体の部(1学年・2学年)

第1シード : 前年度「1学年の部」優勝校

第2シード : 前年度「1学年の部」準優勝校

第3シード : 前年度「1学年の部」ベスト4

第4シード : 支部大会優勝校 第5シード : 支部大会準優勝校

第6シード : 支部大会第3位校 第7シード : 支部大会第4位校

他は支部代表者の責任抽選とする。

a2. 男子団体の部(3学年)

第1シード : 前年度「2学年の部」優勝校

第2シード : 前年度「2学年の部」準優勝校

第3シード : 前年度「2学年の部」ベスト4

他は支部代表者の責任抽選とする。

b1. 女子個人の部(1学年・2学年)

第1シード : 支部大会優勝 第2シード : 支部大会準優勝

第3シード : 支部大会第3位
他は支部代表者の責任抽選とする。

b2. 女子個人の部(3学年)

第1シード : 当年度「総体」都予選または当年度「関東」都予選優勝
第2シード : 当年度「総体」都予選または当年度「関東」都予選準優勝
第3シード : 当年度「総体」都予選または当年度「関東」都予選ベスト4
他は支部代表者の責任抽選とする。

(5) 試合場について

男子団体の部 : 準決勝から正規の試合場で行う。
女子個人の部 : 準決勝から正規の試合場で行う。

(6) 勝敗の判定基準について

東京都高体連柔道専門部大会実施規定「 . 審判規定について」を参照のこと。

(7) 申し合わせ事項について

東京都高体連柔道専門部大会実施規定「 . 申し合わせ事項について」を参照のこと。

4. 東京都高等学校新人大会・東京都高等学校女子団体柔道大会 兼 全国高等学校柔道選手権大会東京都予選会

(1) 試合方法について

a. 男子団体の部

1チーム5名の「勝ち抜き試合」とする。
チーム編成は、監督1名、選手6名の合計7名とする。
オーダー変更は毎回認められる。

b. 女子団体の部

1チーム3名の「点取り試合」とする。
チーム編成は、監督1名、選手3名(先鋒52kg以下、中堅63kg以下、大将無差別)、補欠2名の合計6名とする。

(2) 審判規定について

試合は「国際柔道連盟試合審判規定」によって行う。

(3) 試合時間について

男子団体の部 : 準決勝(順位決定戦も含む)まで3分間とし、決勝は4分間とする。
女子団体の部 : すべて3分間とする。

(4) 抽選・シード基準について

a. 男子団体の部

第1シード : 前年度優勝	第2シード : 前年度準優勝
第3シード : 前年度第3位	第4シード : 前年度第4位
第5シード : 支部大会優勝	第6シード : 支部大会準優勝
第7シード : 支部大会第3位	第8シード : 支部大会第4位

他は支部代表者の責任抽選とする。

b. 女子団体の部

上記「男子団体の部」に準ずる。

(5) 順位(代表)決定について

a. 男子団体の部

代表が3・4校の場合

トーナメント戦により、決勝進出校が第1・2代表となる。さらに、残りの準々決勝進出校6校により、順位決定戦を行い、第3・4代表を決定する。

代表が2校の場合

トーナメント戦を行い、決勝進出校が第1・2代表となる。また、準決勝敗退校(ベスト4)の2校により、補欠決定戦を行う。

b. 女子団体の部

代表が1校の場合

トーナメント戦による優勝校が代表となる。

代表が2校の場合

トーナメント戦上位進出4校の決勝リーグ戦により、上位2校を決定する。なお、決勝リーグ戦におけるチーム間の勝敗が同内容の場合、引き分けとする。

リーグ戦の順位決定基準は、以下の通りとする。

(1) 3勝、2勝1分、2勝1敗、1勝2分、1勝1分1敗、1勝2敗、3分、2分1敗、1分2敗、3敗の順とする。

(2) 上記(1)で同等の場合は、リーグ戦を通じ勝ち数の多いチームを上位とする。

(3) 上記(2)で同等の場合は、「一本」による勝ち数の多いチームを上位とする。

(4) 上記(3)で同等の場合は、「技あり」による総勝ち数の多いチームを上位とする。

(5) 上記(4)で同等の場合は、「有効」による総勝ち数の多いチームを上位とする。

(6) 上記(5)で同等の場合は、負け数の少ないチームを上位とする。

(7) 上記(6)で同等の場合は、「一本」による負け数の少ないチームを上位とする。

(8) 上記(7)で同等の場合は、「技あり」による負け数の少ないチームを上位とする。

(9) 上記(8)で同等の場合は、「有効」による負け数の少ないチームを上位とする。

(10) 上記(9)で同等の場合は、抽選を行う。

(6) 試合場について

男子団体の部 : 準決勝から正規の試合場で行う。(補欠決定戦も含む)

女子団体の部 : 準決勝から正規の試合場で行う。

(7) 勝敗の判定基準について

東京都高体連柔道専門部大会実施規定「 . 審判規定について」を参照のこと。

(8) 申し合わせ事項について

東京都高体連柔道専門部大会実施規定「 . 申し合わせ事項について」を参照のこと。